

たがまつの森

港区立高松中学校 学校だより 1月号

令和8年1月15日 校長 大島 一浩

創立1949年（昭和24年） 高松中学校は今年度で76周年を迎えました。

0(ゼロ)学期

新しい年を迎える。保護者の皆様をはじめ地域の皆様方には、昨年も大変お世話になりました。本年はどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、学校では3学期が始まりました。学年の締めくくりの時期であると同時に、次年度への準備の学期もあります。そういう意味で、特に1・2年生にとっては、「3学期」は進級後の学年の「0学期」です。各学年へのメッセージです。

1年生は、4月に入学した時のことを思い出してください。入学したばかりの皆さん、中学校のいろいろなことを教えてもらい、頼りにしていたのは今の2年生です。あと3か月で同じ立場になります。入学してくる新入生に、高松中生としての模範を見せる準備はできていますか。

2年生は、1年後には今の3年生と同じ状況を迎えています。学習面でも生活面でも、「3年生になら頑張る…。」と考えている人が多いかもしれません、それは4月にならではなく、今から始めることが、4月にいいスタートを切れる秘訣です。高松中学校の最上級生としての姿を期待しています。

3年生にとっては、いよいよ義務教育最後の学期であり、卒業後の自分の進路をつかみ取るという大仕事があります。各自の志望校の受験(検)に向けて、体調を崩さないよう健康を管理しながら、悔いのない準備を進めてください。家庭で机に向かっている勉強は孤独かもしれません、受験(検)は「団体戦」です。学年の仲間と支え合ったり励まし合ったりしながら、3年生全員で乗り越えてほしいと願っています。合格発表の時期はそれぞれです。自分の進路が決まったら、仲間のためにできることを考えましょう。そして、全員の進路が決まった時にみんなで喜びを分かち合ってください。

昔から、1月は「行(いく)」、2月は「逃(に)げる」、3月は「去(さ)る」と言われ、3学期はとても速く感じます。今年は「午(うま)年」。例年よりも一層速く感じるような気がしています。今学期、やり残しや積み残しが無いように、学年の有終の美が飾れるように、4月にいいスタートが切れるように…、充実した毎日を過ごしたいものです。



冬の朝、校舎の東側から登る太陽(左)

冬の日差しを浴びて育つ、高松の森にある夏みかんの木(右)



港区立高松中学校 X (旧 Twitter)
学校生活のようすなどを X にて発信しています。
学校 HP の学校ブログと合わせてご覧ください。